

公益財団法人群馬県スポーツ協会

平成28年度事業計画

基本方針

本協会は、県民総スポーツを目標として、スポーツの健全なる普及発展に努め、県民健康体力の保持増進、生涯スポーツの推進及び競技力向上を図り、健康で明るく豊かなスポーツ健康立県を実現する。そのため、関係機関・団体との連携強化を図り、各種業を積極的かつ効果的に推進する。

I 生涯スポーツの推進に関する事業

1 スポーツの普及啓発に関する事業

(1) 健康スポーツ指導者バンク運営事業 462千円(469千円)()内は平成27年度予算額
少子高齢化や社会の急激な変化に伴い、県民のスポーツに対するニーズも高度化・多様化をしている。年齢や体力等に応じたスポーツの指導ができる人材の育成及び資質向上を目的とする研修会・講習会を開催するとともに、地域、職域等のニーズに応じた指導者を派遣しスポーツの指導を行うことで、県民の健康に対する意識の高揚と健康の保持増進を図る。

ア) 健康・体力づくり巡回指導

市町村・各教育委員会等へスポーツ指導者の派遣事業を紹介し、地域や職場並びにスポーツ愛好団体等のニーズに応じた健康スポーツ指導者バンク登録者を派遣する。

○健康スポーツ指導者バンク登録者： 151名

○指導種目：軽スポーツ各種、健康体力づくり指導、高齢者体操体力づくり指導、親子体操、その他

イ) 健康スポーツ指導者養成講習会

健康スポーツ指導者を養成するため、20歳以上の一般県民の中で健康スポーツ指導者を志す者や現指導者を対象に4日間(理論8時間・実技16時間)のカリキュラムで講習会を開催し資質向上を図る。

期 日 平成29年1月28日(土)～29日(日)、2月4日(土)～5日(日)

会 場 群馬県総合スポーツセンター

対 象 20歳以上の健康スポーツ指導者を志す者

定 員 50名

参加料 5,500円

ウ) 健康スポーツ指導者研修会

健康スポーツ指導者バンク登録者の資質向上を図るとともに、レクリエーションインストラクター養成講習会受講者の現場実習の履修単位として開催する。

期 日 平成28年7月2日(土)

会 場 群馬県総合スポーツセンター

対 象 健康スポーツ指導者バンク登録者

定 員 170名

参加料 無料

エ) 生涯スポーツ講習会

健康・体力づくりスポーツ指導者及びスポーツ愛好者を対象に、楽しめる新スポーツ等を紹介し、生涯スポーツの普及・振興を図る。

期 日 平成28年9月3日(土)

会 場 群馬県総合スポーツセンター

対 象 一般県民、健康スポーツ指導者・体力づくり指導者及びスポーツ愛好者等

定 員 50名

参加料 1,000円

(2) 総合型地域スポーツクラブ育成推進事業 271千円(185千円)

地域に根ざしたスポーツクラブを育成し、県民が日常の中で継続してスポーツを行う環境を整備するとともに、明るく元気な地域社会づくりを推進する。また、全市町村に少なくとも一つはクラブを育成するという目標に、実績豊富なクラブアドバイザーを専門スタッフとして配置するとともに、県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会と連携を持ち、地域の実情を把握すると共に現地に出向きクラブ運営等についてヒアリング等を行う。

2 スポーツの機会を提供する事業

(1) スポーツ体験事業 1,959千円(1,359千円)

本県スポーツ人口の底辺拡大を図るため、県内の小学生を対象にスポーツをする機会を提供し、体を動かすことの爽快さ、楽しさを味わってもらうための教室を開催する。

ア) チャレンジスポーツ教室
・加盟競技団体 12団体
・加盟地域団体 5団体

イ) プロスポーツ選手等との交流教室(ザスパクサツ群馬)
期 日 平成28年8月上旬
会 場 群馬県総合スポーツセンター ふれあいグラウンド
対 象 県内小学生
定 員 200名程度

(2) 教室・公開講座開催事業 2,017千円(2,380千円)

県民に誰でも気軽にスポーツに触れる機会を提供することで、スポーツの楽しさと汗をかく爽快感を味わい、健康・体力の保持増進を図るとともにスポーツを通じて仲間との交流の輪を広げる。

また、施設の特性を活かした各種教室、公開講座を開催する。

ア) テニス公開講座
期 日 平成28年4月～11月(水曜日 計16回)
9:30～11:30
会 場 群馬県総合スポーツセンター テニスコート
対 象 一般県民(小学生以上)
定 員 各回 50名程度
参加料 1回 700円

イ) 初心者アイススケート教室
期 日 第1回目 平成28年12月13日(火)～16日(金)
第2回目 平成29年1月17日(火)～20日(金) 各4日間
会 場 群馬県総合スポーツセンター アイスアリーナ
対 象 5歳以上の初心者
定 員 各回 80名
参加料 大人 3,500円 高校生以下 2,500円

ウ) エンジョイ健康教室
期 日 前期 平成28年4月20日(水)～7月27日(水)(46回)
中期 平成28年9月2日(金)～11月30日(水)(36回)
後期 平成28年12月2日(金)～2月24日(金)(35回)
※原則水曜日・金曜日の午前と午後
会 場 群馬県総合スポーツセンター ぐんまアリーナ
対 象 一般県民
定 員 各教室1回 30人程度
参加料 1回 500円

(3) 総合スポーツセンター管理運営事業

295,518千円(295,518千円)投資活動支出の部2,092千円含む

利用者の立場に立ち、生涯スポーツの振興、県民体力の保持増進、競技力の向上を目指し、健康で明るく豊かなスポーツ健康立県ぐんまの実現に向けて、多種・多様なニーズに応え、安全で衛生的、省エネ環境に配慮した施設を提供するための、管理運営を実行する。また、この施設の設置目的を達成するため、管理運営上の基本方針、環境保護策等を的確に把握し、県内唯一のスポーツ団体として、いかなる社会状況下に置いても、県民へのサービス向上を第一に、総合的な実行性を持って取り組む。

ア) 管理運営施設

群馬県総合スポーツセンター、本館、ぐんまアリーナ、ぐんま武道館、弓道場、サブアリーナ、アイスアリーナ、テニスコート、ふれあいグラウンド、宿泊棟、スポーツ資料館、その他の付属施設

イ) 施設の活用

管理運営施設は、その設置目的である県民の体力増進、競技力の向上及びスポーツの普及振興に資するように、利用促進を図るとともに、大規模なスポーツイベント等の受け入れや実施事業を積極的に行い、効果的な施設の活用を図る。

ウ) 施設設備の維持管理

施設及び設備は、適正な保守管理、業務の委託等により、円滑な運営と維持管理に万全を図る。

エ) 利用料金の収納

施設使用料については、県の条例・規則に基づき利用者から徴収し、県の収入事務取扱要領に基づき適正な経理処理を行い、その全額を指定管理料収入として計上する。

オ) 県総合スポーツセンター施設無料開放

県民が、スポーツを身近なものとして日常生活に取り入れられるように、県総合スポーツセンター施設の無料開放を次のとおり実施する。

①アイスアリーナ以外の施設

- ・県民スポーツの日(毎月10日)
- ・県民の日(10月28日)

②アイスアリーナ

- ・開館初日(10月1日)
- ・県民の日(10月28日)
- ・開館期間中の毎月第2・第4土曜日
(小中学生対象)

カ) 季刊誌の発刊

当施設季刊誌「Sports Season」を年4回季節ごとに作成し、利用者や来館者に対して施設の利用方法や大会予定、各種教室の紹介等を行う。

(4) スポーツ情報提供事業 2,216千円(2,702千円)

各種スポーツ事業の紹介やスポーツに関する内容を本協会ホームページ及び刊行物等で情報提供することにより、スポーツ活動に対する理解、興味関心を高める。

ア) ホームページの運営

各種スポーツ教室、研修会等の開催要項や県総合スポーツセンター各施設の利用情報を掲載するなど広く県民にスポーツの情報を発信する。

なお、本年度は本協会ホームページをリニューアルをして、内容を分かりやすくすると共により一層充実した内容とする。

イ) 刊行物の発刊

刊行物として「ぐんまのスポーツ」「年報」を発刊し、いずれの刊行物も無償で加盟団体及び関係団体に配布し、本協会の活動を周知する。

①「ぐんまのスポーツ」事業紹介・各種大会の結果等(年2回)

②「年報」毎年事業記録、事業報告や研究調査の成果等(年1回)

ウ) スポーツライブラリー

県総合スポーツセンタースポーツ資料館にスポーツ図書等を定期的に購入して、県民に対し無料閲覧及び無料貸出等の情報提供サービスを行う。さらに、本年度は県民のニーズに合わせた幅広いスポーツ情報提供物を購入し、スポーツ資料館の拡充を図る。

3 青少年スポーツの健全な育成に関する事業

(1) 青少年スポーツ育成事業 20,218千円 (19,234千円)

スポーツ少年団活動を通じて、そこから生まれる喜びや楽しさが新たな感動を呼び起こし、さらには協調性や想像性など、生きるうえで基本となる豊かな情操を養う。また、スポーツを通じて社会のルールを学び相手を思いやる心を養うなど良き社会人への成長に結びつけることを目的とする。

ア) スポーツ少年団大会開催事業

各種目を愛好するスポーツ少年団員を一堂に会し、技術の向上と競技の喜びを体験させるとともに、団員相互の親睦を図り、少年スポーツの健全な発展を目的として下記大会を実施する。

- 第35回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会 群馬県予選会
期 日 平成28年5月8日(日)～6月25日(土)
実施種目 軟式野球・空手道・バレーボール・ミニバスケットボール・
バドミントン 計5種目
会 場 群馬県総合スポーツセンター その他県内各会場
対 象 県スポーツ少年団登録者

- 第52回群馬県スポーツ少年団大会
期 日 平成28年8月6日(土)・7日(日)
実施種目 サッカー・バレーボール・ミニバスケットボール・ソフトボール
・卓球・柔道・剣道・レスリング 計8種目
会 場 群馬県総合スポーツセンター その他県内各会場
対 象 県スポーツ少年団登録者

- 群馬県スポーツ少年団競技別交流大会
期 日 平成28年5月7日(土)～平成29年3月5日(日)
実施種目 軟式野球・バレーボール・ミニバスケットボール・ソフトボール
サッカー・バドミントン・ソフトテニス・空手道・柔道・スケート・
スキー 計11種目
会 場 群馬県総合スポーツセンター その他県内各会場
対 象 県スポーツ少年団登録者

○スポーツ少年団全国・関東派遣事業

大会名	期日	会場及び競技名
関東ブロックスポーツ少年団 競技別交流大会	平成28年7月29日(金) ～31日(日)	栃木県宇都宮市他 軟式野球・バレーボール・ミニ バス・バドミントン・空手道
全国スポーツ少年団 軟式野球交流大会	平成28年8月5日(金) ～8日(月)	滋賀県彦根市 軟式野球
全国スポーツ少年団 バレーボール交流大会	平成29年3月下旬予定	福井県福井市 バレーボール
全国スポーツ少年団 剣道交流大会	平成29年3月下旬予定	愛知県名古屋市 剣道
全国スポーツ少年大会	平成28年7月28日(木) ～31日(日)	香川県高松市
関東スポーツ少年大会	平成28年9月17日(土) ～19日(月)	埼玉県

イ) スポーツ少年団顕彰事業

永年にわたりスポーツ少年団の発展に貢献し、特に顕著な功績のある単位団及び登録指導者を表彰する。また、顕著な功績のあった者へ感謝状を贈呈する。

○功労者・優良単位団表彰式

期 日 平成29年3月19日(日)
会 場 群馬県総合スポーツセンター
表彰名 功労者表彰・優良単位団表彰

ウ) スポーツ少年団指導者養成等事業

スポーツ少年団の育成指導にあたる指導者の資質向上と意識の高揚を図り、少年団活動におけるより一層の活性化を促進するため研修会・講習会を開催する。地域におけるスポーツ少年団活動の活性化を図るとともに、単位団及び地域の将来にわたる後継者の養成を目指し、日本スポーツ少年団リーダー制度に基づくジュニア・リーダースクールを開催する。

事業名	期日及び会場	対象者
指導者研究大会	平成29年 1月22日 (日) 県総合スポーツセンター	スポーツ少年団の指導に携わっている者
母集団育成研修会	平成28年 8月27日 (土) 伊勢崎市	スポーツ少年団に登録している団員の保護者・指導者・地域の方々
講習会 ・ 研修会等	①平成28年11月12日 (土) ～13日 (日)	スポーツ少年団指導者等
	②平成28年11月26日 (土) ～27日 (日) 前橋工科大学	
認定員養成講習会 (兼スポーツリーダー 養成講習会)		
認定員研修会・再研修会	平成28年12月 4日 (日) 県総合スポーツセンター	スポーツ少年団認定員、スポーツ少年団認定育成員、スポーツ少年団の指導に携わっている者
ジュニア・リーダースクール	平成28年 9月17日 (土) ～19日 (月) 国立赤城青少年交流の家	県スポーツ少年団登録団員であり、小学校5年生以上中学生以下の者

エ) スポーツ少年団フェスティバル

交歓・ゲーム活動を通して、団員相互の交流を図り、青少年のこころとからだを育てるとともに、それぞれの少年団や地域において活躍のできる中学生・高校生リーダーの育成をする。

期 日 平成29年3月19日 (日)
会 場 群馬県総合スポーツセンター
対 象 県スポーツ少年団登録団員であり、小学校1年生以上の者

オ) 日独スポーツ少年団同時交流事業 (受入)

両国間の優れた青少年指導者・団員が、同期間に同人数を相互に交換 (派遣・受入) する同時交流を行い、スポーツ活動や民泊を取り入れ相互の文化・生活習慣を実際に体験することで、相手の国や文化を理解することや共通テーマに基づくディスカッション等により交流を深め、両国の青少年スポーツの発展に寄与することを目的として、日独両国間の交流事業を実施する。

なお、本年度は伊勢崎市スポーツ少年団がドイツ団を受け入れる。

受入期日 平成28年7月30日 (土) から8月3日 (水)
受入人数 指導者1名 団員 9名

4 各種大会を通じ社会参加を促進する事業

(1) 社会参加促進事業 4,023千円(4,017千円)

スポーツによって、年齢や障がいの有無に関係なく誰もが生きがいのある豊かな生活を営むことが出来る社会の創造を目指し、下記の2つの大会を受託事業として開催する。

- ア) ぐんまねんりんピック2016 (県長寿社会づくり財団からの受託)
スポーツや文化活動を通じて、高齢者の健康の保持増進と交流を図り、県民総スポーツの輪を広げるとともに、生きがいづくりを進め、ふれあいと活力ある長寿社会づくりを推進する。

期	日	平成28年11月2日(水)
会	場	群馬県総合スポーツセンター
対	象	県内在住の昭和33年4月1日以前に生まれた人で、大会参加に支障のない健康な者
種	目	ゲートボール、スマイルボウリング、ペタンク、ソフトボール、テニス、ソフトテニス、卓球、グラウンドゴルフ、弓道、剣道、水泳、マラソン、なぎなた、太極拳、囲碁、将棋、健康マージャン

- イ) 群馬県障害者スポーツ大会2016 (県障害者スポーツ協会からの受託)
障がい者がスポーツを通じて交流を深めながら、体力の維持増強と障がい者スポーツの発展を図るとともに、県民の障がい者に対する正しい理解と認識を深め、障がい者の自立と社会参加を促進する。

期	日	平成28年9月18日(日)・25日(日)
会	場	群馬県立ふれあいスポーツプラザ
対	象	13歳以上の身体障がい者
種	目	陸上競技、水泳、卓球、アーチェリー、フライングディスク、軽スポーツ

II 健康増進・体力向上に関する事業

5 県民体力づくり相談に関する事業

(1) 県民体力づくり相談事業 1,919千円(1,710千円)

現代の生活環境では高齢化社会、運動不足や食生活の変化、日常生活のストレスの増加により運動器の障害や生活習慣病などの問題を抱える人が増えている。そのため、県民が健康で快適に生活できるように、安全で無理のない運動・スポーツ指導を行い、健康の保持増進・体力の向上が図れるよう「県民体力づくり相談事業」として、県民のスポーツニーズ(レベル)に応じた各種測定・メディカルチェック及び栄養指導を実施する。

- ア) メディカルチェック・体力測定及び栄養指導の実施

健康体力測定では理学療法士、臨床検査技師及び本協会のスポーツ医科学委員会に所属する内科・整形外科の日体協公認スポーツドクター等の専門家との連携及び協力により医科学的な検査を行う。さらに、栄養面では栄養調査結果から管理栄養士が、個々の食生活についてアドバイス・指導を行う。これらの結果に基づいた運動プログラムの作成や助言・指導することで県民の健康・体力づくりへの関心をより一層高めるとともに医科学面からも体力の向上や健康的な生活ができるようサポートをする。

- イ) メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドローム予防のための運動指導

企業や高齢者団体に対して、体力測定を積極的に行い、日常生活の中で身体活動をより一層取り入れ、メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドロームの予防を図り、健康・体力の保持増進が図られるよう運動指導を行う。

6 スポーツ医科学の普及に関する事業

(1) スポーツ医科学普及事業 777千円(642千円)

県民が生涯にわたり、安全で効果的にスポーツを行うことができるよう、薬物に対する意識を高め、スポーツ障(傷)害の予防と、個々の診断に対する処方し、健康状態に応じたスポーツを行うことができるよう各種事業を実施する。

ア) アンチドーピング事業

国体選手を中心とした健全なスポーツ活動の推進を目的に、本県選手の薬物使用、誤用への認識を高め、ドーピング防止教育・啓発活動を積極的に実施する。ドーピング防止の教育・啓発活動のための資料収集と情報提供、選手・指導者を対象としたドーピング関係書類の配布、アンチ・ドーピング推進班による会議の開催及び研修事業参加、国体結団式での選手・監督等への直接指導、ドーピングに関する問い合わせへの対応を行い、ドーピング防止の教育・啓発活動に努める。

○アンチ・ドーピング指導

期 日 平成28年8月10日(水)・8月31日(水)・9月21日(水)
平成29年1月4日(水)・20日(金)
会 場 群馬県総合スポーツセンター 他
対 象 国民体育大会 本県代表監督及び選手等

イ) スポーツドクター養成研修事業

スポーツ愛好者及び競技選手がスポーツ障(傷)害の予防や、効果的に競技力向上が達成できるように、日体協公認スポーツドクターを養成する研修会を県医師会・医療機関と連携し実施する。また、県内のスポーツドクターの資質向上を図るため、スポーツドクター協議会と連携し、県内で開催する各種大会へ医事協力、スポーツドクター会員の定期的研修会の開催、県内地域で講演会講師の派遣等を実施し公認スポーツドクターの活動の充実を図る。

○スポーツドクター研修会

期 日 平成28年4月16日(土)
会 場 群馬県総合スポーツセンター
対 象 日本体育協会公認スポーツドクター及び競技関係者

ウ) トレーナー養成講習会事業

スポーツ愛好者及び競技選手の健康管理、障害予防、スポーツ外傷・障害の救急処置、アスレティックリハビリテーション及びトレーニング、コンディショニング等の指導・助言を行い競技力向上対策を効果的に行うため本協会認定アスレティックトレーナーを養成する。

○アスレティックトレーナー養成講習会

期 日 平成28年11月17日(木)・18日(金)
会 場 群馬県総合スポーツセンター
対 象 理学療法士、作業療法士、看護師、鍼灸師、柔道整復師の国家資格を有し次のいずれかの条件を満たした者
・日体協公認アスレティックトレーナー、講習会受講者及び講習会受講推薦者
・本協会加盟競技団体からの推薦者で本協会スポーツ医科学委員会、トレーナー専門委員会が認めた者

エ) スポーツ医事相談事業

健康の保持増進やスポーツに関わる障害等の早期発見、早期治療及びその予防等について、電話等により相談を受け付けて、県内の公認スポーツドクター医療機関を紹介する。また、スポーツ医科学に関する講演会を日体協公認アスレティックトレーナー、医師、大学教授、スポーツ医科学委員会等の協力のもと、各市町村15会場において、「スポーツ医科学講演会」を実施する。

III 競技力向上を推進する事業

7 国民体育大会への選手等選考及び派遣に関する事業

(1) 国民体育大会等派遣事業 90,957千円(76,637千円)

国民体育大会本大会及び関東ブロック大会において、本県選手が活躍することは、県民へ感動と活力を与えるとともに、スポーツへの意識を高め、各種スポーツの普及振興にも寄与すると考える。本県選手団が活躍するため、競技力の高い代表選手の選考及び開催地への派遣等の諸事業を実施する。

ア) 選手・監督の選考、選手団等の派遣

各加盟競技団体の予選会を通過した優秀な選手の参加条件を確認後、国民体育大会推進委員会で選考し、本県代表として派遣する。

イ) 激励活動

国民体育大会へ出場する本県選手団を県当局と連携し、激励する。

大会名及び事業名	期日	会場及び競技名
第71回国民体育大会 関東ブロック大会	平成28年 6月 5日(日) ～12月25日(日)	山梨県下 カヌー競技ほか31競技 (フィギュア含む)
第71回国民体育大会 本大会会期前	平成28年 9月 4日(日) ～ 9月11日(日)	岩手県下 水泳競技
監督会議 結団式	平成28年 9月21日(水)	県総合スポーツセンター ぐんま武道館
第71回国民体育大会 本大会	平成28年10月 1日(土) ～10月11日(火)	岩手県下 陸上競技ほか35競技 特別競技1競技
第72回国民体育大会 冬季大会スケート・アイスホッケー	平成29年 1月27日(金) ～ 1月31日(火)	長野県長野市、岡谷市、軽井沢町 スケート・アイスホッケー競技
第72回国民体育大会 冬季大会スキー	平成29年 2月14日(火) ～ 2月17日(金)	長野県白馬村 スキー競技

8 スポーツ指導者養成に関する事業

(1) 指導者養成事業 1,806千円(1,290千円)

県民が、スポーツを安全で、正しく、楽しくできるように、指導・助言ができる公認スポーツ指導員の講習会を実施する。

ア) スポーツ指導員養成講習会

地域スポーツクラブやスポーツ教室等において、参加者の年齢や性別など対象者に合わせた競技別の技術指導等にあたる者を養成する事業であり、日本体育協会がNHK通信講座を活用して共通科目を担当し、本協会が専門科目を委託事業として実施する。

また、講習会・研修会を通じ、自己の役割や責任及び人道的問題(指導者の競技選手に対する暴力やセクシャル・ハラスメント)について指導をする。

○公認スポーツ指導員養成講習会(専門科目)

対象競技団体 弓道

○公認上級スポーツ指導員養成講習会(専門科目)

対象競技団体 弓道

○公認上級スポーツ指導員養成講習会(共通科目)

期日 平成28年12月17日(土)・18日(日)・24日(土)

会場 群馬県総合スポーツセンター

イ) スポーツ指導者研修会

公認スポーツ指導者制度の有効期限は4年間であり、4年毎に更新するための義務研修として開催する。また、スポーツに関する最新の知識や情報を獲得し、指導現場で実践できる資質を向上させることを目的に年2回実施する。

期 日	第1回 平成28年 7月 9日 (土)
	第2回 平成28年11月26日 (土)
会 場	群馬県総合スポーツセンター
対 象	公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者

ウ) スポーツ指導者協議会育成事業

県内の日本体育協会公認スポーツ指導者が共通認識を持ち、資質向上及び指導力向上を図ることを目的とした群馬県スポーツ指導者協議会が組織されている。その組織を育成することは本協会の目的である指導者の育成に繋がると考えることからその運営に対し支援、助成をする。

9 競技力向上・選手強化対策に関する事業

(1) 競技力向上対策事業 200,000千円(200,000千円)

本県が高い水準で安定した競技力を確保し、国際大会や全国大会において、優秀な成績を収めるため、経済的基盤の整備や指導者の確保、一貫指導体制の確立等に取り組み、競技力向上の推進を図る。

ア) 団体対策推進事業

競技団体等の強化・育成事業の推進及び各競技団体・学校体育団体の強化体制や強化組織の育成と、競技力の向上を図るために団体対策費として、各競技団体に補助金を交付する。

- 競技団体強化事業(国体正式競技団体)
- 高体連強化事業(県高等学校体育連盟)
- 中体連強化事業(県中学校体育連盟)
- 関東ブロック突破等対策プロジェクト事業
(国体正式競技団体、県高等学校体育連盟)

イ) ぐんまスーパーキッズプロジェクト事業

本県競技力水準の一層の向上を図るため、体力・運動能力に優れたジュニア選手を早期に発掘し、適正な育成プログラムを計画的・継続的に実施することにより、日本、世界へ通用するトップレベルの選手の育成を目指す。

選考会	平成28年 5月29日(日)	群馬県総合スポーツセンター
認定式	平成28年 6月25日(土)	群馬大学教育学部
研修会	平成28年12月 3日(土)	群馬県総合スポーツセンター
対象競技	スケート、スキー、陸上、水泳、レスリング、空手道、ボウリング、ゴルフ	

ウ) 拠点施設活用事業

公共スポーツ施設を活動拠点として、ジュニア育成等を中心とした競技スポーツクラブへ経費の一部を補助し、全国トップクラスの競技者の育成を目的とする。

エ) ジュニア指導者派遣事業

ジュニア選手等の活動場所である運動部やクラブへ、情熱ある専門的指導者を派遣し、タレントの発掘・育成及び、一貫した強化体制の構築を図り、全国トップレベルのジュニア選手を育成する。

オ) マネジメントコーチ推進事業

各競技団体にマネジメントコーチを適正に配置し、全国・世界レベルの競技者を育成する。また、各競技団体の強化組織体制を整備し、競技力向上対策の企画と推進により競技力の向上を図る。

カ) スポーツ指導者養成事業

○スポーツセミナー・一貫強化会議

各競技団体、学校体育団体並びに地域団体の中心的役割を果たしている指導者を対象に、指導力向上研修、スポーツ医科学研修等、実習を含めたスポーツセミナーを実施し、指導者の資質向上を図ると共に、一貫強化体制の充実を図る。

期 日 平成28年12月10日(土)
会 場 群馬県総合スポーツセンター

○中央指導者招聘研修会

中央から優秀で実績のある講師を招聘して研修会を開催し、スポーツ指導者の養成・支援を行い、本県競技力水準の一層の向上を図る。

キ) 全国等競技力分析事業

国体本大会や冬季大会、関東ブロック大会の開催地に、選手強化委員や支援スタッフを派遣することにより、全国等の競技レベルを分析し、本県の競技レベルの向上に役立てる。

ク) スポーツ医科学活用事業

競技力向上対策事業全般の評価・分析及び結果のフィードバック等を担当するスポーツ医科学スタッフの確保と活用を図るために、県総合スポーツセンターを医科学研究拠点として位置づけ、本協会強化指定選手及び指定競技団体の競技力向上を目指した各種測定やメディカルチェック、心理テスト等の研究、トレーナー派遣を支援し、強化現場にフィードバックを行う。

ケ) ぐんまオリンピック・パラリンピックチャレンジ事業

本県ゆかりの選手が一人でも多く、日本代表選手としてオリンピック・パラリンピックや国際大会へ参加し、活躍できるよう支援を行う。2020年東京オリンピック・パラリンピックターゲット選手や将来の日本代表選手の育成・支援を行う。

○アスリートサポート事業

オリンピック・パラリンピックや国際大会で本県選手が活躍してもらうため、アスリートを支えるトレーナー等に係わる経費の補助並びに、合宿や遠征費用等を補助する。

○ドリームロード事業

中学生アスリート及びその指導者を強化指定し、競技力向上の意識を高める。

10 競技力向上支援に関する事業

(1) オリンピック・パラリンピック選手支援事業 4,800千円(4,800千円)

※26年度国体選手競技力向上支援事業

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催が決定し、ジュニアの育成に加えて、オリンピックや世界大会等を目指す本県トップアスリートの支援を強化することが重要となってきたので、その活動を支援する。

そこで、オリンピックや世界大会等において活躍が期待できるが、活動費等が十分でない現役トップアスリートを支援し、本県スポーツの競技力向上を図る。

なお、活動支援の財源は協力企業からの寄付金とする。

(2) 大会等支援事業 2,146千円(2,146千円)

各種大会の開催及び海外派遣選手に対し支援することで、県民のスポーツへの興味関心を高め、スポーツの底辺拡大を図る。

ア) 海外派遣選手壮行補助事業

本県選手等が海外競技会(オリンピック・世界選手権・アジア大会等)に参加することは、県民へのスポーツの興味関心を高めるとともに夢と感動を与えるにつながる。よって海外競技会に参加する選手等に対し、壮行金を交付する。

イ) 県小体研記録会補助事業

県小学校体育研究会が開催する陸上、水泳教室記録会開催のために補助金を交付し児童のスポーツ普及・育成を図る。

ウ) 県民体育大会補助事業

県民を対象に開催している県民体育大会の実施競技21団体に補助金を交付し大会の支援を行う。

(3) スポーツ顕彰事業 2,244千円(2,233千円)

本県のスポーツの振興と発展に貢献した個人・団体の功績を讃え、競技力の向上とスポーツの振興及び郷土意識の高揚に資することを目的に下記の表彰を行う。

○群馬県スポーツ協会長賞表彰

期日 平成29年2月25日(土)

会場 群馬県総合スポーツセンター ぐんま武道館

賞名 スポーツ功労者賞・最優秀選手賞及び最優秀指導者賞・優秀選手賞

ジュニアスポーツ奨励賞・特別功労者賞・特別賞

IV 本協会の運営

148,195千円(146,906千円) 人件費及び共通事業費含む

1 理事会等の運営

会議等名		期 日	議事等
理事会 ・ 評議員会	第16回理事会(通常)	平成28年 5月25日(水)	平成27年度事業報告及び決算等
	第17回理事会(臨時)	平成29年 1月18日(水)	平成28年スポーツ協会長賞選考等
	第18回理事会(通常)	平成29年 3月15日(水)	平成28年度補正予算・平成29年度事業計画及び予算等
	第8回評議員会(定時)	平成28年 6月15日(水)	平成27年度事業報告及び決算等
	第9回評議員会(臨時)	平成29年 3月22日(水)	平成28年度補正予算・平成29年度事業計画及び予算等
委 員 会	総務委員会	平成28年5月25日(水)	平成27年度事業報告及び決算等
		平成29年1月18日(水)	平成28年スポーツ協会長賞選考等
		平成29年3月10日(金)	平成28年度補正予算・平成29年度事業計画及び予算等
	生涯スポーツ推進委員会	平成28年 7月28日(木)	日体協公認スポーツ指導者等表彰候補者の推薦・県民体育大会の交付金等
		平成29年 3月 2日(木)	平成29年度生涯スポーツ関係事業計画
	選手強化委員会	平成28年 4月14日(木)	平成28年度競技力向上対策費団体対策事業費等
		平成28年 5月29日(日)	ぐんまスーパーキッズプロジェクト2016選手選考
		平成28年 6月17日(金)	国体参加基準、第71回国体関東ブロック大会支援スタッフ
		平成28年 7月 7日(木)	第71回国体本大会支援スタッフ、国体に向けての激励
		平成28年 9月 2日(金)	平成28年度強化指定選手及び運動部
		平成28年10月27日(木)	平成29年度競技力向上対策費等
		平成29年 3月14日(火)	平成29年度競技力向上対策費、競技スポーツ推進実施計画、競技力向上対策事業計画等

会議等名		期日	議事等
委 員 会	国民体育大会推進委員会	平成28年 7月 1日 (金)	平成28年度活動内容について
		平成28年 8月10日 (水)	第71回国民体育大会本大会選手団第1次選考等
		平成28年 8月31日 (水)	第71回国民体育大会本大会選手団第2次選考等
		平成29年 1月 4日 (水)	第72回国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会選手団選考等
		平成29年 1月20日 (金)	第72回国民体育大会冬季大会スキー競技会選手団選考等
スポーツ医科学委員会	平成28年 7月 6日 (水)	平成27年度事業報告について 平成28年度事業計画について	
諸 会 議 等	加盟団体理事長・強化担当・事務担当者合同会議	平成28年 4月22日 (金)	平成28年度事業計画及び予算、その他諸事業について
	群馬県スポーツ協会関係者親睦ゴルフ大会	平成28年 7月25日 (月)	赤城国際カントリークラブ
	第71回国民体育大会本大会反省会	平成28年11月16日 (水)	第71回国民体育大会の反省と今後の強化について
	平成29年新年懇親会	平成29年 1月 6日 (金)	前橋テルサ
	平成29年度競技団体別選手強化担当者会議・第72回国民体育大会冬季大会反省会	平成29年 3月 3日 (金)	第71回国民体育大会の反省に基づく第72回国民体育大会への課題と強化対策及び平成29年度競技団体競技力調査について

2 事務局の運営

(1) 加盟団体及び群馬県との連携

(2) 本協会が実施する事業推進のため、自主財源の確保に努める。

ア) 賛助会員の募集

イ) オリンピック・パラリンピックに向けての選手競技力向上事業における寄付金の確保